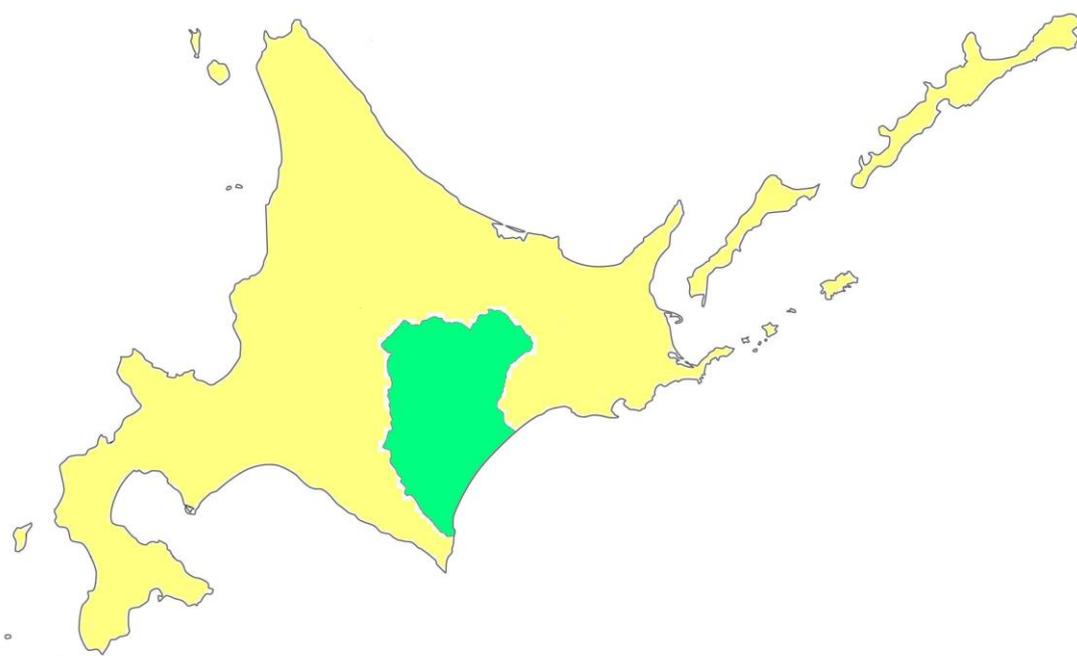


# とがち経済情報

令和6年8月発行  
(令和6年4~6月)



財務省 北海道財務局  
帯広財務事務所



URL <https://lfb.mof.go.jp/hokkaido/obihiro/>  
希望ある未来へ 地域と歩む 北海道財務局

# 目 次

	ページ
十勝経済の北海道経済に占める位置 .....	1
主要経済指標（前年同月比等）の動向 .....	2
と  か  ち  経  済  の  概  況  .....	3
1. 生  乳  生  産  .....	4
2. 公  共  事  業  .....	5
3. 住  宅  建  設  .....	6
4. 個  人  消  費  .....	7
5. 雇  用  情  勢  .....	8
6. 観  光  .....	9
7. 金  融  .....	10
8. 企  業  倒  産  .....	11
企業・関係団体の生の声.....	12

## 【利用上の注意】

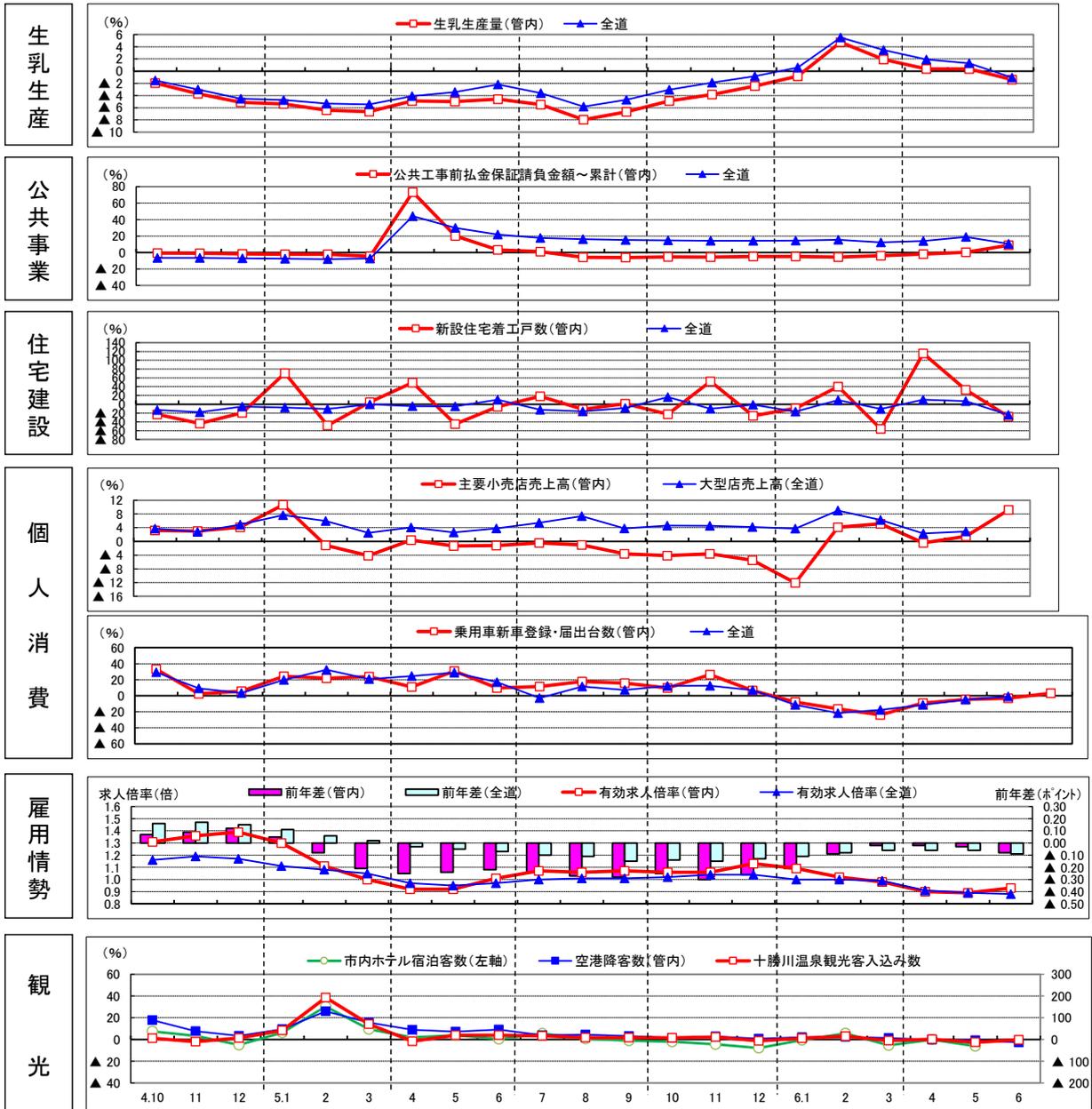
- ・数字の単位未満は原則として四捨五入しているため、総数と内訳の計が一致しない場合がある。
- ・公表数値は、推計方法の変更等により、過去に遡って改訂される場合がある。
- ・符号の用法は次のとおりである。  
「0」～単位未満 「－」～該当数値なし 「p」～速報数値 「r」～改定数値

## 十勝経済の北海道経済に占める位置

区 分	単位	十勝管内	全 道	全道比	摘 要
1. 面積・人口					
・ 面 積	km <sup>2</sup>	<u>10,832</u>	<u>83,422</u>	13.0%	国土地理院(6.4.1)
・ 人 口	人	<u>322,614</u>	<u>5,063,509</u>	6.4%	住民基本台帳(6.6末)
・ 人 口 密 度	人/km <sup>2</sup>	<u>29.8</u>	<u>60.7</u>	—	
2. 経 済 構 造					
・ 就 業 者 数	人	159,851	2,347,270	6.8%	} 国勢調査(令和2年)
第一次産業	人	22,932	156,298	14.7%	
第二次産業	人	26,455	387,947	6.8%	
第三次産業	人	104,628	1,738,586	6.0%	
・ 事 業 所 数	事業所	15,741	216,124	7.3%	経済センサスー活動調査確報(令和3年)
3. 農 業					
・ 農家(販売農家)戸数	戸	4,830	32,232	15.0%	農林業センサス 農林業経営体調査(2020年確定値)
・ 耕 地 面 積	ha	<u>254,500</u>	<u>1,141,000</u>	<u>22.3%</u>	北海道農林水産統計年報(令和5年)
・ 一戸当り耕地面積	〃	<u>52.7</u>	<u>35.4</u>	—	
・ 乳用牛飼育戸数	戸	1,110	5,380	20.6%	} 十勝畜産統計(令和5年)
・ 乳用牛飼育頭数	頭	244,287	842,700	29.0%	
・ 一戸当り乳用牛頭数	〃	220	157	—	
・ 肉用牛飼育戸数	戸	578	2,180	26.5%	
・ 肉用牛飼育頭数	頭	230,395	566,400	40.7%	
・ 一戸当り肉用牛頭数	〃	399	260	—	
・ 生 乳 生 産 量	百トン	12,599	41,788	30.1%	農林水産省・十勝総合振興局(令和5年度集計)
・ 農 業 産 出 額	億円	3,494	12,919	27.0%	} 農林水産統計(令和4年) 十勝総合振興局(令和4年農協取扱高)
耕 種	〃	1,330	5,384	24.7%	
畜 産	〃	2,164	7,535	28.7%	
4. 林 業					
・ 森 林 面 積	ha	689,137	5,537,208	12.4%	北海道林業統計(5.4.1)
・ 森 林 蓄 積 量	千m <sup>3</sup>	124,597	862,633	14.4%	
5. 漁 業					
・ 海面漁業漁獲量	百トン	921	11,509	8.0%	北海道水産現勢(令和4年:属地統計)
・ 漁業生産額	億円	79	3,182	2.5%	
6. 工 業					
・ 製造事業所数	事業所	<u>494</u>	<u>6,423</u>	<u>7.7%</u>	経済構造実態調査 製造業事業所調査(2023年)
・ 製造従業者数	人	<u>12,619</u>	<u>164,811</u>	<u>7.7%</u>	
・ 製造品出荷額等	億円	<u>5,555</u>	<u>66,413</u>	<u>8.4%</u>	
7. 金 融					
・ 預 金	億円	<u>17,078</u>	<u>376,336</u>	—	銀行、信用金庫、信用組合の計(6.3末)
・ 貸 出 金	〃	<u>8,706</u>	<u>159,944</u>	—	銀行の全道分はゆうちょ銀行を含む
8. 地 方 財 政					
・ 歳 入	億円	2,691	38,785	6.9%	市町村普通会計決算(令和4年度)
・ 歳 出	〃	2,609	37,970	6.9%	

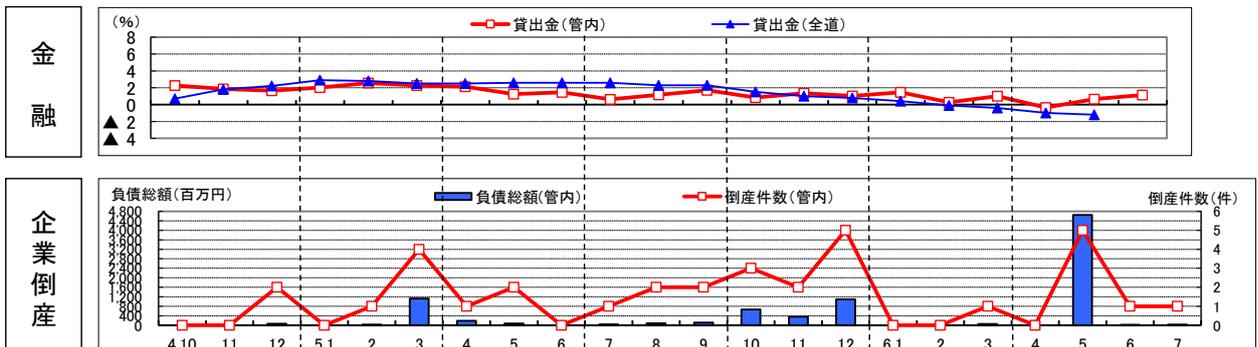
※下線は更新箇所

# 主要経済指標(前年同月比等)の動向



	4年10～12月期	5年1～3月期	5年4～6月期	5年7～9月期	5年10～12月期	6年1～3月期	6年4～6月期
総括判断	持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている	持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている	緩やかに持ち直しつつある	緩やかに持ち直しつつある	緩やかに持ち直しつつある	緩やかに持ち直しつつある	緩やかに持ち直しつつある
前回比較	↘	↗	↗	↗	↗	↗	↗

## 【参考】



## 【 と か ち 経 済 の 概 況 】

### 管内経済は、緩やかに持ち直しつつある。

#### 【総括判断】

観光は、持ち直しの動きに一服感がみられるほか、雇用情勢は、有効求人倍率が前年を下回っており、生乳生産は、前年並みとなっている。

一方で、個人消費は、緩やかに持ち直しているほか、公共事業は、前年を上回っており、住宅建設は、前年を大幅に上回っている。

このように管内経済は、緩やかに持ち直しつつある。

#### 【先行き】

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、持ち直しの動きが続くことが期待される。ただし、物価上昇、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

#### 【総括判断の前回比較】

項 目	前回 6年1月～3月	今回 6年4月～6月	前回比較
総括判断	緩やかに持ち直しつつある	緩やかに持ち直しつつある	⇒

#### 【各項目の判断】

項 目	前回 6年1月～3月	今回 6年4月～6月	前回比較
生乳生産	前年同期を上回る	前年同期並み	↘
公共事業	前年度累計を下回る	前年度累計を上回る	↗
住宅建設	前年同期を下回る	前年同期を大幅に上回る	↗
個人消費	一部に弱さがみられるものの、 緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	⇒
雇用情勢	有効求人倍率は前年を下回る	有効求人倍率は前年を下回る	⇒
観 光	緩やかに持ち直している	持ち直しの動きに一服感がみられる	↘

#### 【参 考】

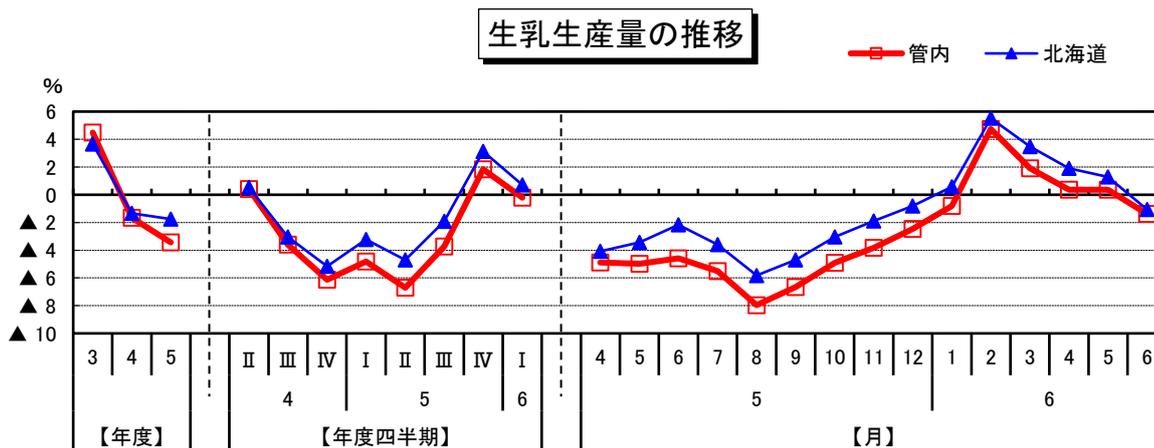
金 融	貸出金残高は前年並み	貸出金残高は前年並み
企業倒産	前年同期を下回る	前年同期を上回る

# 1. 生乳生産…前年同期並み

生乳生産量は、前年同期並みとなっている。

生乳生産量 (単位:t、%)

年 月	生産量	前年比
3年度	1,326,869	4.5
4年度	1,304,861	▲ 1.7
5年度	1,259,914	▲ 3.4
5. 4～6	326,044	▲ 4.8
7～9	311,038	▲ 6.7
10～12	305,831	▲ 3.7
6. 1～3	317,001	1.8
4～6	325,362	▲ 0.2
6. 1	106,081	▲ 0.8
2	101,079	4.7
3	109,841	1.9
4	107,409	0.4
5	111,996	0.4
6	105,957	▲ 1.4



<資料：農林水産省、十勝総合振興局>

## 2. 公共事業…前年度累計を上回る

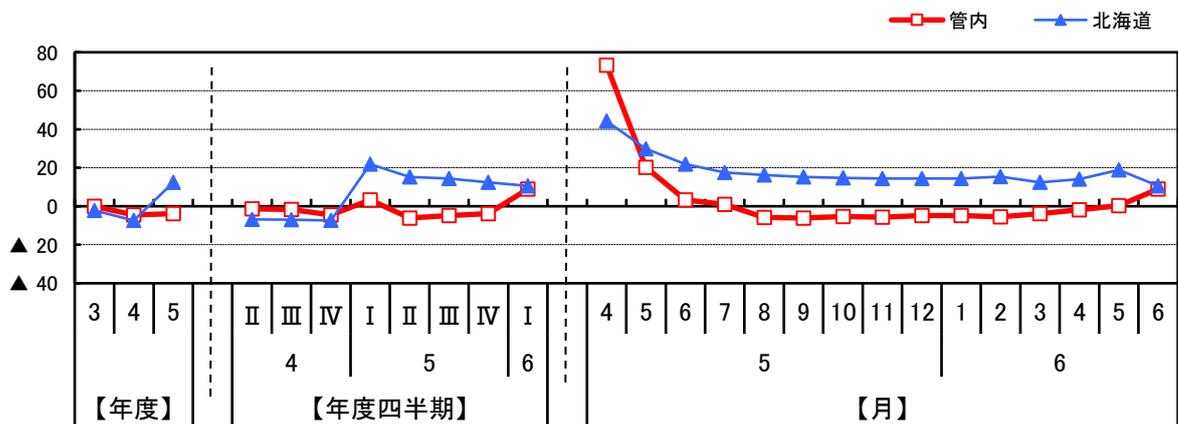
公共事業を前払金保証請負金額でみると、道路、学校・病院等で増加したことから、前年度累計を上回っている。

前払金保証請負金額

(単位:百万円、%)

年月	月間	前年比	累計	前年比
3年度			65,398	▲ 0.0
4年度			62,452	▲ 4.5
5年度			60,041	▲ 3.9
5. 4～6	34,496	3.3	34,496	3.3
7～9	14,673	▲ 22.6	49,169	▲ 6.1
10～12	4,844	9.0	54,013	▲ 4.9
6. 1～3	6,028	6.8	60,041	▲ 3.9
4～6	37,591	9.0	37,591	9.0
6. 1	204	64.5	54,217	▲ 4.8
2	313	▲ 62.0	54,530	▲ 5.6
3	5,511	17.3	60,041	▲ 3.9
4	5,233	▲ 1.9	5,233	▲ 1.9
5	13,637	1.2	18,870	0.3
6	18,721	19.3	37,591	9.0

公共工事前払金保証請負金額推移(前年度累計比)



<資料：北海道建設業信用保証㈱>

### 3. 住宅建設…前年同期を大幅に上回る

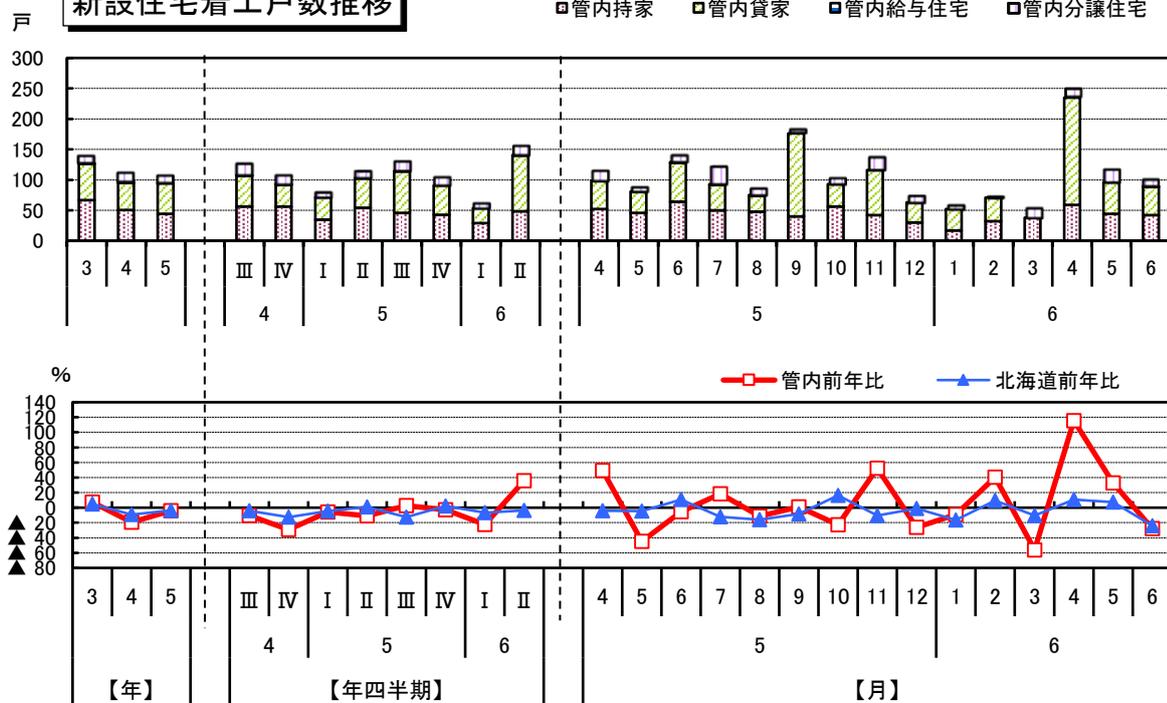
住宅建設を新設住宅着工戸数で見ると、持家は前年を下回ったものの、貸家が前年を大幅に上回ったことから、全体では前年同期を大幅に上回っている。

新設住宅着工戸数(帯広市+3町)

(単位:戸、%)

年月	合計		持家		貸家		給与住宅		分譲住宅	
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	
3年	1,668	7.4	802	13.6	714	3.8	15	▲ 6.3	137	▲ 4.2
4年	1,343	▲ 19.5	608	▲ 24.2	532	▲ 25.5	27	80.0	176	28.5
5年	1,287	▲ 4.2	533	▲ 12.3	602	13.2	3	▲ 88.9	149	▲ 15.3
5. 4~6	343	▲ 10.9	162	5.9	145	▲ 23.3	1	0.0	35	▲ 16.7
7~9	390	2.6	138	▲ 17.9	204	32.5	2	100.0	46	▲ 19.3
10~12	314	▲ 2.8	128	▲ 24.3	144	33.3	-	全減	42	▲ 6.7
6. 1~3	186	▲ 22.5	87	▲ 17.1	74	▲ 32.1	-	0.0	25	▲ 3.8
4~6	466	35.9	145	▲ 10.5	275	89.7	1	0.0	45	28.6
6. 1	59	▲ 9.2	17	▲ 46.9	35	20.7	-	-	7	75.0
2	73	40.4	32	▲ 15.8	39	3800.0	-	-	2	▲ 84.6
3	54	▲ 56.1	38	8.6	0	全減	-	-	16	77.8
4	248	115.7	59	13.5	176	282.6	-	-	13	▲ 23.5
5	117	33.0	44	▲ 4.3	52	48.6	-	-	21	200.0
6	101	▲ 27.9	42	▲ 34.4	47	▲ 26.6	1	0.0	11	0.0

新設住宅着工戸数推移



(注) 年、四半期の戸数は月平均。

<資料: 国土交通省、音更町、幕別町、芽室町>

## 4. 個人消費…緩やかに持ち直している

主要小売店売上高は、飲食料品、衣料品等が前年を上回っていることから、全体でも前年同期を上回っている。

乗用車販売（新車登録・届出台数）は、前年を下回っている。

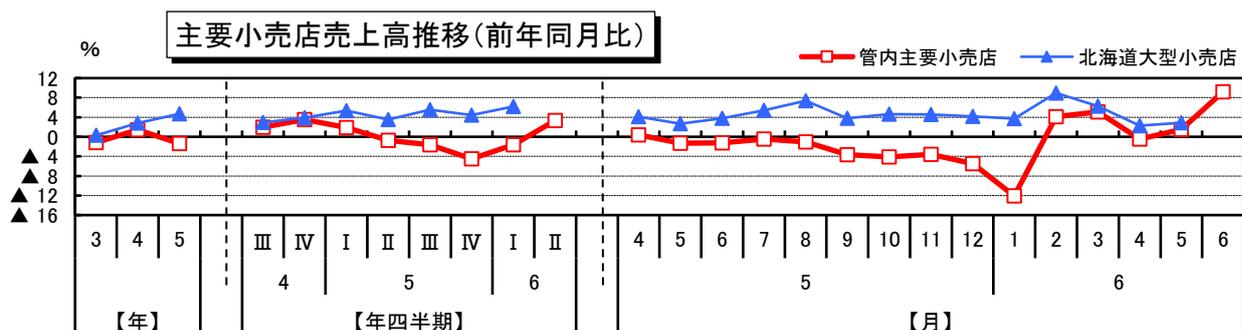
このように、個人消費は緩やかに持ち直している。

### 個人消費

(単位:台、%)

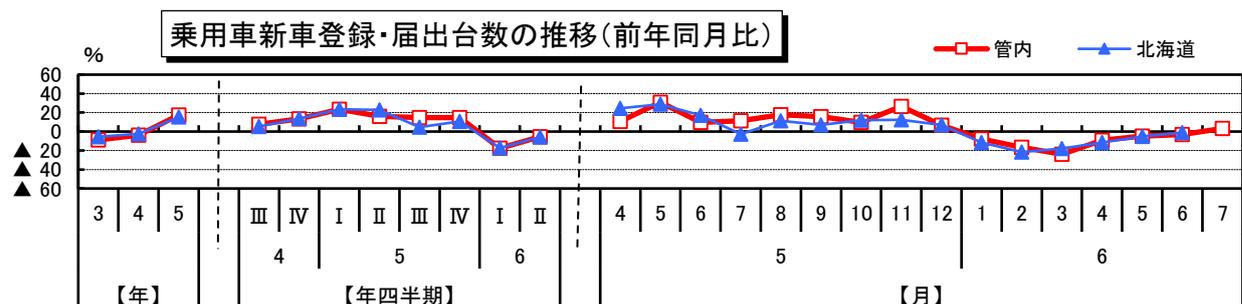
年月	主要小売店売上高			乗用車新車登録・届出台数							
	前年比			計		普通		小型		軽	
	合計	飲食料品	衣料品	台	前年比	台	前年比	台	前年比	台	前年比
3年	▲ 1.2	▲ 0.8	▲ 0.7	8,893	▲ 8.8	3,263	0.4	2,427	▲ 18.9	3,203	▲ 8.7
4年	▲ 1.5	▲ 1.8	▲ 4.5	8,548	▲ 3.9	3,116	▲ 4.5	2,315	▲ 4.6	3,117	▲ 2.7
5年	▲ 1.4	▲ 1.9	▲ 18.9	10,039	▲ 17.4	4,277	▲ 37.3	2,446	▲ 5.7	3,316	▲ 6.4
5. 4~6	▲ 0.7	▲ 2.6	▲ 18.1	2,297	▲ 16.1	955	▲ 44.3	616	▲ 2.2	726	▲ 1.8
7~9	▲ 1.7	▲ 2.2	▲ 25.5	2,456	▲ 14.8	977	▲ 14.3	637	▲ 25.1	842	▲ 8.5
10~12	▲ 4.5	▲ 0.3	▲ 31.5	2,329	▲ 14.6	997	▲ 35.5	527	▲ 3.5	805	▲ 7.2
6. 1~3	▲ 1.7	▲ 2.0	▲ 22.1	2,437	▲ 17.6	1,008	▲ 25.2	575	▲ 13.7	854	▲ 9.4
4~6	▲ 3.4	▲ 2.4	▲ 8.1	2,170	▲ 5.5	957	▲ 0.2	519	▲ 15.7	694	▲ 4.4
6. 1	▲ 12.1	▲ 4.8	▲ 46.2	721	▲ 7.9	309	▲ 4.9	165	▲ 5.2	247	▲ 13.0
2	▲ 4.1	▲ 4.6	▲ 9.7	699	▲ 16.5	279	▲ 26.6	171	▲ 12.3	249	▲ 5.0
3	▲ 5.1	▲ 7.0	▲ 0.8	1,017	▲ 23.9	420	▲ 34.7	239	▲ 19.5	358	▲ 9.8
4	▲ 0.4	▲ 0.8	▲ 2.0	660	▲ 9.2	281	▲ 10.8	158	▲ 16.4	221	▲ 0.9
5	▲ 1.5	▲ 0.8	▲ 10.3	711	▲ 4.7	310	▲ 10.7	158	▲ 21.8	243	▲ 8.0
6	▲ 9.2	▲ 7.6	▲ 11.7	799	▲ 3.0	366	▲ 1.7	203	▲ 9.8	230	▲ 3.8
7				831	▲ 3.2	351	▲ 0.3	194	▲ 8.5	286	▲ 17.7

(注) 主要小売店売上高について、令和5年2月以降対象先が1社減、令和5年8月以降対象先が1社減となったため、以前の数値とは連続性がない。



(注) 管内は主要小売店。北海道は百貨店と大型スーパーの合計（全店ベース）で、直近月は速報値。

<資料：北海道経済産業局、管内主要小売店>



<資料：(一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車協会連合会、帯広自動車販売店協会>

## 5. 雇用情勢…有効求人倍率は前年を下回る

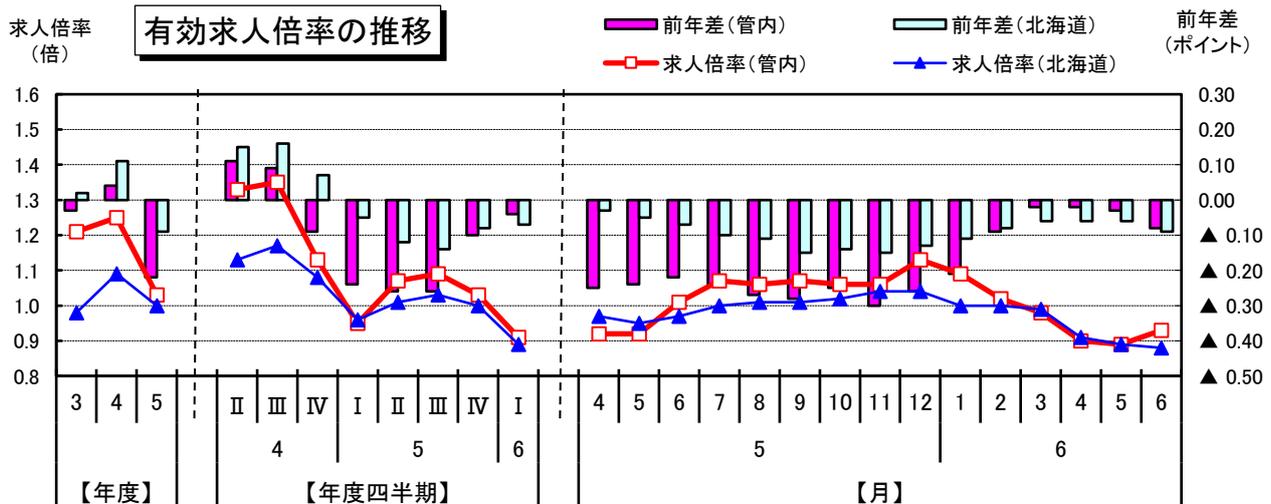
雇用情勢（パートを含む常用）をみると、月間有効求職者数は前年並みだったものの、月間有効求人数が前年を下回ったことから、有効求人倍率は前年を下回っている。

職業紹介状況

(単位：人、%、倍、ポイント)

年 月	一般（パートを含む常用）											新規高卒者 就職内定状況		
	新規求職申込件数		新規求人数			月間有効求職者数		月間有効求人数		有効求人倍率		(内定率)	前年差	
	前年比		前年比	うちパート	前年比	前年比	前年比	前年比	前年差					
3年度	11,462	4.1	24,998	3.5	7,072	▲2.8	58,207	7.2	70,422	4.8	1.21	▲0.03	100.0	0.3
4年度	12,249	6.9	26,037	4.2	7,275	2.9	60,263	3.5	75,145	6.7	1.25	▲0.04	99.8	▲0.2
5年度	12,193	▲0.5	22,441	▲13.8	6,506	▲10.6	62,134	3.1	64,034	▲14.8	1.03	▲0.22	99.0	▲0.8
5. 4～6	3,587	0.5	5,791	▲15.3	1,688	▲13.4	16,771	2.6	15,944	▲17.8	0.95	▲0.24	-	-
7～9	2,665	1.3	5,566	▲18.2	1,654	▲10.2	15,330	3.3	16,383	▲17.2	1.07	▲0.26	45.0	▲0.4
10～12	2,605	2.5	5,614	▲13.0	1,542	▲8.5	14,789	4.6	16,053	▲16.0	1.09	▲0.26	87.4	▲7.5
6. 1～3	3,336	▲4.9	5,470	▲7.9	1,622	▲9.8	15,244	2.1	15,654	▲7.2	1.03	▲0.10	99.0	▲0.8
4～6	3,504	▲2.3	5,200	▲10.2	1,375	▲18.5	16,669	▲0.6	15,106	▲5.3	0.91	▲0.04	-	-
6. 1	1,066	▲0.6	1,742	▲5.0	482	7.1	4,844	6.8	5,288	▲10.0	1.09	▲0.21	92.7	▲5.5
2	1,113	▲4.6	1,825	▲18.2	527	▲27.5	5,077	1.2	5,171	▲7.5	1.02	▲0.09	95.9	▲3.3
3	1,157	▲8.9	1,903	1.7	613	▲1.3	5,323	▲1.0	5,195	▲3.7	0.98	▲0.02	99.0	▲0.8
4	1,555	0.4	1,713	▲7.1	452	▲11.2	5,638	▲1.5	5,072	▲4.1	0.90	▲0.02	-	-
5	1,079	▲4.3	1,751	▲8.7	454	▲22.9	5,625	0.1	5,024	▲3.1	0.89	▲0.03	-	-
6	870	▲4.5	1,736	▲14.5	469	▲20.5	5,406	▲0.3	5,010	▲8.4	0.93	▲0.08	-	-

(注) 新規高卒者就職内定状況の年度欄は各3月末の計数、四半期欄は各期末の計数。



<資料：帯広公共職業安定所>

## 6. 観光・・・持ち直しの動きに一服感がみられる

空港降客数、十勝川温泉観光客入込み数、市内ホテル宿泊客数は前年を下回っており、持ち直しの動きに一服感がみられる。

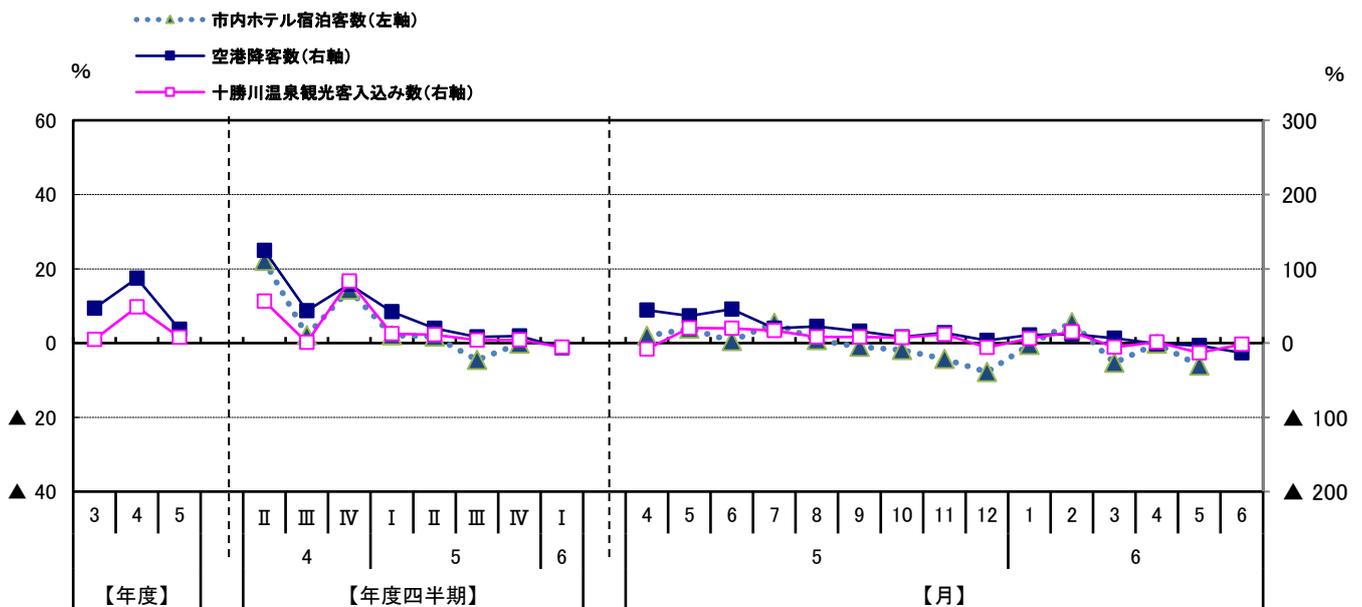
### 観光

(単位：人、%)

年 月	帯広空港利用状況(降客数)						十勝川温泉観光客入込み数(宿泊客等)				市内ホテル 宿泊客数 前年比
	合 計		定期便		不定期便		合 計		宿 泊 客		
		前年比		前年比		前年比		前年比		前年比	
3年度	147,373	46.8	146,836	46.2	537	全増	168,717	5.0	152,545	1.9	/
4年度	276,139	87.4	274,534	87.0	1,605	198.9	250,860	48.7	233,640	53.2	
5年度	327,926	18.8	327,027	19.1	899	▲ 44.0	270,900	8.0	252,177	7.9	
5. 4～6	78,304	42.2	78,304	43.3	-	全減	60,445	12.7	56,693	13.7	2.1
7～9	96,352	19.6	95,578	19.5	774	41.5	77,507	11.1	72,208	11.7	1.7
10～12	78,451	8.4	78,451	9.4	-	全減	64,846	4.1	60,526	5.1	▲ 4.5
6. 1～3	74,819	9.7	74,694	9.5	125	全増	68,102	4.5	62,750	1.9	▲ 0.2
4～6	73,264	▲ 6.4	73,264	▲ 6.4	-	-	57,099	▲ 5.5	52,757	▲ 6.9	
6. 1	24,123	10.9	24,123	10.9	-	-	21,338	5.9	19,566	4.5	▲ 0.5
2	24,390	12.3	24,265	11.7	125	全増	23,769	15.0	22,041	12.6	5.6
3	26,306	6.4	26,306	6.4	-	-	22,995	▲ 5.7	21,143	▲ 9.2	▲ 5.3
4	21,616	▲ 1.0	21,616	▲ 1.0	-	-	12,998	1.2	11,758	▲ 1.4	▲ 0.2
5	25,296	▲ 3.2	25,296	▲ 3.2	-	-	20,313	▲ 13.1	18,828	▲ 15.0	▲ 6.1
6	26,352	▲ 13.1	26,352	▲ 13.1	-	-	23,788	▲ 1.8	22,171	▲ 2.0	

(注) 十勝川温泉観光客入込み数について令和3年4月以降対象先が1社減となったため、以前の数値とは連続性がない。

### 空港降客数及び十勝川温泉観光客入込み数,市内ホテル宿泊客数



<資料：北海道エアポート(株) 帯広空港事業所、音更町（主要旅館5社）、日本銀行釧路支店帯広事務所>

## 7. 金融…貸出金残高は前年並み

金融機関の貸出金残高（銀行・信用金庫・信用組合ベース）をみると、全体では前年並みとなっている。

事業者向けは前年並みとなり、個人向けは前年を上回っている。

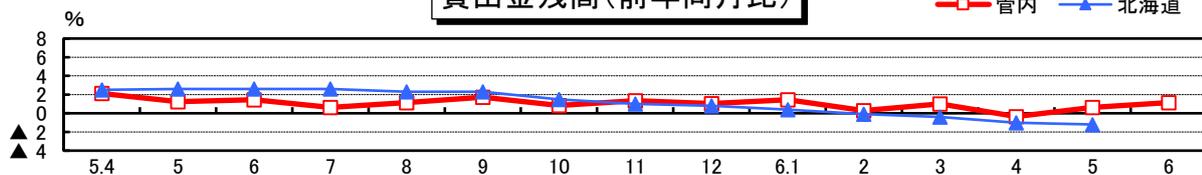
金融

（単位：百万円、％）

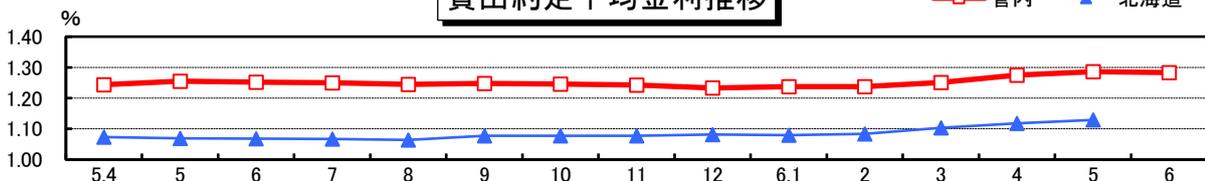
年 月	貸出金残高		事業者向け貸出						個人		地方公共団体	
		前年比		前年比	設備	前年比	運転	前年比		前年比		前年比
3. 6 末	823,314	4.6	482,554	6.1	190,337	1.5	292,217	9.3	265,012	3.0	75,741	0.7
4. 6 末	832,958	1.2	481,517	▲ 0.2	193,347	1.6	288,170	▲ 1.4	274,230	3.5	77,208	1.9
5. 6 末	845,040	1.5	491,027	2.0	202,144	4.5	288,883	0.2	281,221	2.5	72,787	▲ 5.7
6. 1 末	874,124	1.5	518,165	1.3	209,100	5.6	309,065	▲ 1.4	285,104	2.5	70,851	▲ 1.6
2 末	872,240	0.3	513,526	▲ 0.9	209,309	4.8	304,217	▲ 4.5	285,549	2.7	73,159	▲ 0.1
3 末	870,617	1.0	507,667	0.1	211,257	4.6	296,410	▲ 2.9	287,062	2.7	75,884	0.8
4 末	848,356	▲ 0.4	491,277	▲ 1.5	210,405	3.8	280,872	▲ 5.1	287,261	2.5	69,813	▲ 3.7
5 末	847,806	0.6	486,324	▲ 0.4	210,346	4.3	275,978	▲ 3.8	288,071	2.5	73,404	0.7
6 末	854,731	1.1	494,440	0.7	211,713	4.7	282,727	▲ 2.1	287,974	2.4	72,310	▲ 0.7

年 月	預金残高		要求払		定期性		貸出約定平均金利
		前年比		前年比		前年比	
3. 6 末	1,663,031	7.8	1,127,773	12.2	531,925	▲ 0.3	1.260
4. 6 末	1,709,967	2.8	1,184,182	5.0	522,949	▲ 1.7	1.244
5. 6 末	1,725,120	0.9	1,214,757	2.6	507,667	▲ 2.9	1.252
6. 1 末	1,709,853	▲ 0.1	1,213,561	1.5	494,036	▲ 3.7	1.237
2 末	1,705,326	0.1	1,213,125	1.8	490,119	▲ 3.7	1.237
3 末	1,707,849	2.2	1,229,927	5.2	475,856	▲ 4.6	1.251
4 末	1,735,271	0.3	1,246,573	1.9	486,641	▲ 3.3	1.275
5 末	1,713,859	0.4	1,222,194	2.0	489,629	▲ 3.3	1.286
6 末	1,748,605	1.4	1,256,714	3.5	489,831	▲ 3.5	1.283

貸出金残高(前年同月比)



貸出約定平均金利推移



(注1) グラフは、管内・北海道とも銀行・信用金庫・信用組合ベース。

(注2) 「貸出約定平均金利」の基礎データには、制度融資に関する金利データが含まれており、地方公共団体から受け取る利子補給分について、算定可能な限り、これを含めている。

<資料：北海道財務局、帯広財務事務所>

## 8. 企業倒産・・・前年同期を上回る

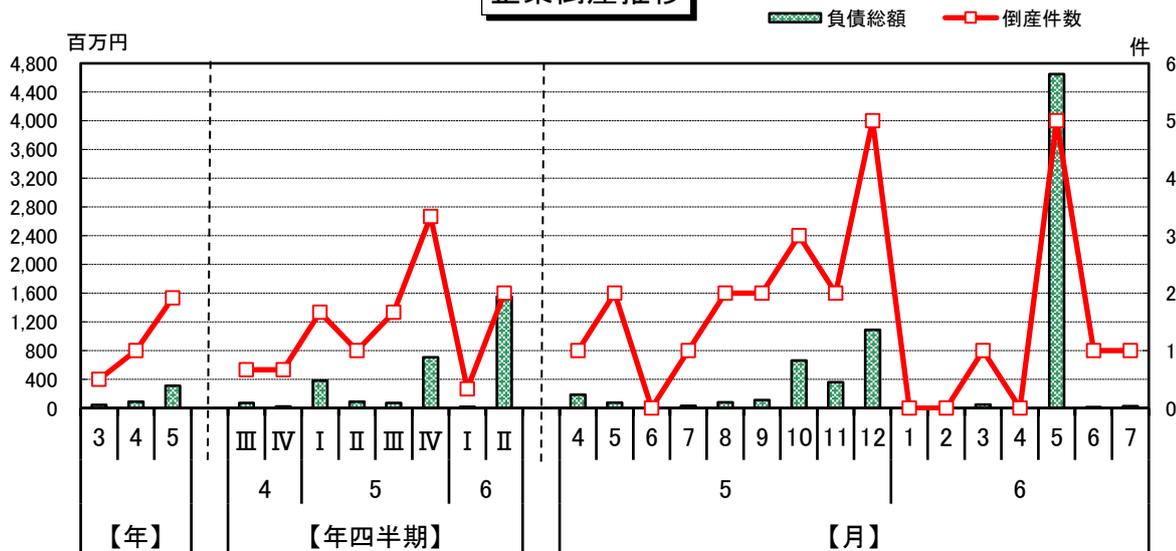
企業倒産は、件数、負債総額ともに前年同期を上回っている。

企業倒産(負債総額1千万円以上)

(単位:件、百万円、%)

年月	件数	前年比	建設業	製造業	卸・小売業	運輸・通信業	サービス業	その他	負債総額	
										前年比
3年	6	▲ 50.0	-	3	-	-	2	1	539	▲ 70.4
4年	12	100.0	3	1	-	2	4	2	1,069	98.3
5年	23	91.7	2	4	6	-	9	2	3,748	250.6
5. 4~6	3	▲ 57.1	-	1	-	-	2	-	265	▲ 65.4
7~9	5	150.0	-	2	1	-	2	-	220	5.8
10~12	10	400.0	2	1	3	-	2	2	2,115	3,104.5
6. 1~3	1	▲ 80.0	-	-	-	-	1	-	50	▲ 95.6
4~6	6	100.0	-	-	1	-	2	3	4,661	1,658.9
6. 1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	-	全減	-	-	-	-	-	-	-	全減
3	1	▲ 75.0	-	-	-	-	1	-	50	▲ 95.6
4	-	全減	-	-	-	-	-	-	-	全減
5	5	150.0	-	-	1	-	1	3	4,649	5,937.7
6	1	全増	-	-	-	-	1	-	12	全増
7	1	0.0	-	-	-	-	1	-	27	▲ 10

企業倒産推移



(注) 年、四半期は月平均。

<資料: (株)東京商工リサーチ>

### 【個人消費】

- ・全般的な値上げによる単価上昇の傾向が続いているが、来店客数と1人当たり買上点数が前年と比べて増加しているところを見ると、値上げへの抵抗感は薄れてきていると感じる。(食料品スーパー)
- ・お客様にとって食料品を購入する際の店舗の選択肢が増え、安いところを選んで来店しており、節約志向が表れていると感じる。(食料品スーパー)
- ・耐久消費財全般的に購買意欲は低下しており、安くしても売れない。お客様は本当に欲しいもの、必要なものに絞り、自身の価値観に合った商品を購入していると感じる。(大型小売店)
- ・十勝の商業施設の相次ぐ閉鎖に伴い札幌圏への支出の流出が続き、今後の売上の減少要因になると考えている。(大型小売店)
- ・猛暑に向けた設置需要で引き続きエアコンの販売が好調で、全体の売上を牽引しているほか、扇風機やスポットクーラーも売れている。一方で、冷蔵庫や洗濯機といった他の白物家電の販売は伸び悩んだ。(家電量販店)
- ・オリンピックイヤーは本来テレビの好調要因となるが、スマホやPCでオンライン視聴する傾向が強くなっているほか、テレビで視聴することが多い高齢者層についても、パリ五輪は放映する時間帯が遅いことから、テレビの売上増加につながっていない。(家電量販店)
- ・生活に車が必要な土地柄もあり、不正問題はあったものの需要自体は下がっていない。新型車による上向きの効果も残っている。管内のディーラーに車が回ってくれば、売れる状態にある。(一般社団法人)
- ・消費者には受注再開を待つ傾向がある。(乗用車販売店)

### 【観光】

- ・GWが中飛びの日程だったほか、昨年と異なり宿泊助成がないため反動減が目立った。一方、円安の影響で6月のインバウンドが多かった。(一般社団法人)
- ・宿泊単価を上げて質を向上させる戦略のため、宿泊客数が前年を下回っているが、売上は伸びている。(宿泊業)

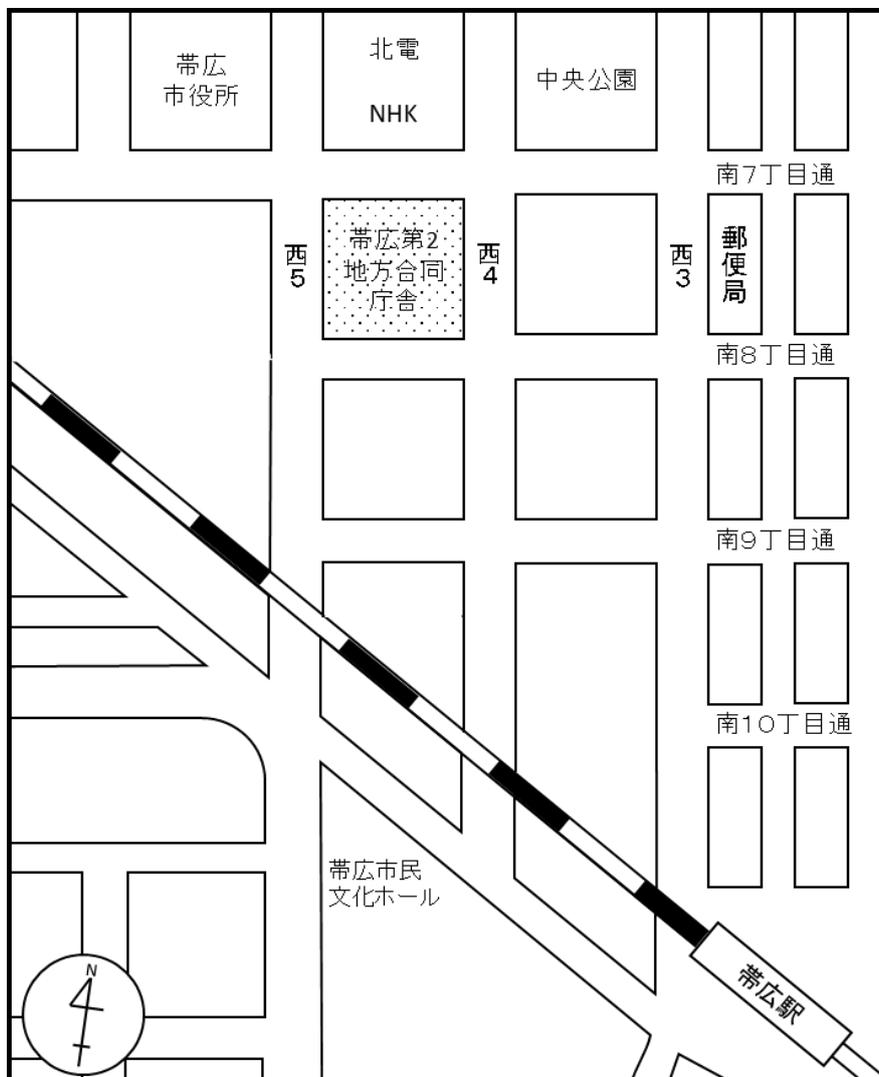
### 【住宅建設】

- ・建築費の高止まりと物価高による実質所得の落ち込みに加え、住宅ローン金利の上昇により住宅新築のマイナスが低下しており、新築戸建ては厳しい状況。モデルハウスのイベント会場への来場者数も激減している。一方、中古住宅の販売は堅調で、リフォームも増えている。(建設業)
- ・持家建築を見送った世帯の住み替え需要や一人暮らし世帯の需要が一定数あり、資金に余裕のある事業者が投資目的でアパートを建てるケースが増えている。(建設業)

### 【雇用】

- ・物価上昇や人件費の上昇により企業が真に必要な人員に絞り、採用を調整していると思われる。また、民間求人会社や自社のホームページなど、他の様々な求人媒体を活用するケースもある。ただ、管内の状況を鑑みると、実感としては全体的に人手不足感が強い。(公的機関)
- ・ハローワークや民間求人、店舗掲示などあらゆるツールを使ってパートを募集しているが、人手不足の状況は変わらない。しかしながら、スキマバイトアプリを活用した求人についてはかなり需要があり、直接雇用につながるケースもあることから、貴重なツールとなっている。(食料品スーパー)

本誌に関するご意見、ご要望はお気軽に  
下記までお寄せ下さい。



帯広財務事務所 財務課

〒080-0015

帯広市西5条南8丁目

帯広第2地方合同庁舎

TEL 0155(25)6381

ご意見・ご要望はこちらへお寄せ下さい。

<https://lfb.mof.go.jp/hokkaido/mailform/hokkaido.php>